



Make Dreams Real

「夢をかたちに」

2008-2009 年度 RI テーマ

国際ロータリー会長 李東建

第 2640 地区ガバナー 勝野 露観



## 海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

## 第 1548 回例会 20 年 10 月 27 日 (月)

12 : 30 ~ 海南商工会議所 4 F

## 1. 開会点鐘

## 2. ロータリーソング

「我等の生業」

## 3. 出席報告

会員総数 67 名 出席者数 42 名 出席免除会員 1 名  
出席率 63.64% 前回修正出席率 75.76%

## 4. 会長スピーチ

会長 宮田貞三君

皆様、今日は。今月は大変な月でした。8 日に私たちの素晴らしい仲間、大川幹二さんがご逝去されました。誠に残念でなりません。皆様には通夜告別式に立礼していただき大変ご苦労様でした。厚く御礼申し上げます。

18 日から 22 日までの彰化東南 RC の訪問に際して、歓迎会、ゴルフ、観光、ヨットセーリング、飲み会の接待等、皆様に大変お世話になりました。有難うございました。



彰化東南 RC と姉妹クラブの締結もできました。頼社長様より、海南東 RC の皆様に歓迎していただき嬉しく心より感謝していますとのお礼状が届きました。

25 日には、社会奉仕委員会の道路清掃に多数参加頂き有難うございました。海南市保健福祉センターから川端通り、温山荘、築港のボート係留場所、谷口病院まで道路を清掃してきました。清掃後のミーティングでは、ゴミの多い所は交差点付近と、草が茂っている所、ボートの係留場所等、人目につきにくい場所であるとの話が出ました。掃除の終わったキレイになった道路を振り返ってみると周囲の雰囲気、街並が変わって見えました。街並をキレイにすると、きっと捨てる人の心も変わり、捨てる人も無くなる。ゴミを捨て

なくなるまで毎年、いや毎月清掃奉仕を続けてもよいのではとの話も出ました。

25 日、地区で 30 会が新しく出来ました。寺下さん、山畑さん、中西さん、大江さん、出席ご苦労様でした。

今年 12 月 1 日が年次総会となっています。クラブ細則第 3 条第 1 節によると、理事および役員選挙については、理事および役員を選挙すべき年次総会の 1 ヶ月前の例会において、指名委員会を設置しなければならないとなっています。当クラブの慣例に従い理事会メンバーをもって指名委員会とさせて頂いてよろしいでしょうか。御諮りします。

本日は情報委員長、新垣さんの卓話です。よろしくお願いします。

## 5. 幹事報告

幹事 山田耕造君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山西 RC 11 月 5 日 (水) → 11 月 5 日 (水)  
18 : 00 ~ 四季彩 “MIZUKI”

ダイワロイネットホテル 3 F  
岩出 RC 11 月 13 日 (木) → 11 月 13 日 (木)  
ロータリーコミュニケーション  
講座 (於: 貴志川高校)

11 月 20 日 (木) → 11 月 15 日 (土)  
IM4 組 橋本 RC

○休会のお知らせ

海南 RC 10 月 29 日 (水)

○レート変更のお知らせ

11 月のレート 1 \$ = 100 円

○弁護士会からの案内

11 月 25 日 (火) 「裁判員裁判を考えるつどい」  
県民文化会館小ホールで午後 6 時 30 分 ~

## 6. 委員会報告

○海南 3 クラブ合同ゴルフ、80 会 田村健治君  
11 月 24 日 (月) サンリゾート GC でありますので

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ① 真実かどうか ② 好意と友情を深められるか  
③ みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294 (海南商工会議所内)  
電話 (073) 483-0801 FAX (073) 483-2266

会長: 宮田 貞三 幹事: 山田 耕造 SAA: 阪口 洋一

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail : [info@kainaneast-rc.jp](mailto:info@kainaneast-rc.jp)





を実現するために、ロータリーは世界中の人々を団結へと導きました」と述べました。

講演者にはそのほか、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団共同理事長のビル・ゲイツ氏、ユネスコ事務局長の松浦晃一郎氏、WHO事務局長のマーガレット・チャン氏らが参加。フォーラムでは各国政府の指導者、慈善団体、開発機関の幅広い連携が築かれ、2015年までに貧困や飢餓、疾病などを大きく減らすというMDGsへの決意を新たにしました。

## 徹底した予防接種活動でポリオ撲滅を目指す—パキスタン—

思いやりの心と熱意、そして勇気に駆られたパキスタンのペシャワール・ロータリークラブの会員たちが、世界で一番の僻地、しか



も危険地帯とされている場所で、子供たちへの予防接種活動を援助しました。パキスタンで9月15日から17日にかけて実施された準全国予防接種日に参加したクラブ会員たちは、治安の悪いアフガニスタン国境付近にあるパキスタン西北辺境州の連邦管轄部族地域の子供たちを対象に、予防接種を行いました。

「この地域には320世帯あり、現地の部族の生活は、教育や医療、通信など、あらゆる面で発展が遅れています」と言うのは、クラブ会員のスエド・フェロス・シャー氏です。予防接種キャンペーンの前に「部族の長老たちを集め、部族民が予防接種会場に足を運ぶよう働きかける説明会を行いました。特に部族の若者たちは、この説明会に熱心に参加していました。また、ポリオの認識向上を目的としたウォークを行い、ポリオの予防接種について宣伝して回りました」とシャー氏。キャンペーンの3日間、ペシャワールのロータリアンたちは、5歳未満の子供にポリオワクチンを投与するため、戸別訪問を行いました。また、会員らは、ポリオ以外の病気の予防接種を受ける必要性についても親たちに説明しました。キャンペーン終了後も、2日間にわたり、子供への予防接種を拒絶していた家族に説得を続けました。その結果、キャンペーン中に接種を受けなかった105人の子供たちにもワクチンを投与することができました。そのうち65人は、当初、予防接種を拒んでいた家族の子供たちでした。

保健の専門家によると、パキスタンにおけるポリオ撲滅活動の中心は、ポリオ感染のリスクが最も高

いと言われるバローチスターン州、イスラマバード、西北辺境州、パンジャブ州です。「難しい課題はいろいろとありますが、ポリオを撲滅すると私たちは心に誓っています」と、ペシャワールの世界保健機関運営事務局で働くサイード・アクバル・カーン氏は述べます。

## ポリオ撲滅のために 4,000 キロ以上を歩く

米国カリフォルニア州、レイク・エルシノア・クラブに所属する冒険心旺盛なリス・ウォレスさんは、昨年、米国西部にあるパシフィック・クレスト・トレイル（訳注：メキシコ国境からカナダ



国境まで続く長距離自然歩道)を、3840キロメートル以上歩きました。今年8月、再び身支度を整えたウォレスさんは、踏破の決意を新たに、ワシントン州のスノーコルミー峠からカナダ、ブリティッシュ・コロンビアのマイング州立公園までの残り410キロメートルを歩き切りました。このプロジェクトの目的は、ポリオ・プラスのための募金でした。

「ポリオ撲滅のために募金しながら、ポリオ・プラスを支援するよう人々の意欲を高めるとともに、みんなが協力すれば何でも成し遂げられるということ、人々に示したいと思った。協力すれば、子供たちや将来の世代をポリオウィルスから守ることができるのです」とウォレスさんは言います。

レイク・エルシノア・ロータリー・クラブが提唱するプロジェクト、「PCT4 ポリオ」の一環として、ウォレスさんは、トレイルへ出発する前に、南カリフォルニアにある24余りのクラブを訪問し、ロータリー財団のポリオ・プラス基金へ寄付するよう人々に呼びかけました。テレビや新聞の取材に応え、ハイキングの途中でたくさんのクラブ訪問を行い、2007年にユタ州のソルトレイクシティで開かれたRI国際大会ではブースも開設しました。レイク・エルシノア・ロータリー・クラブは、このプロジェクトでRI広報賞を受賞しました。同じくロータリアンであるウォレスさんの両親は、レイク・エルシノア・クラブで積極的に活動し、このプロジェクトでも大きな役割を果たしました。父親が宣伝と推進を行う一方で、母親は食料や衣服を郵便で届けるなど、ハイキングの手配を助けてくれました。

「このプロジェクトをやると決めるまでは、ロータリーについてあまり知らなかったけれど、この経験を通じて、多くを学びました。私の家族はロータリーにぞっこんですが、今では私も、ロータリーにのめり込んでいます」